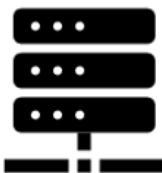


# Business Suite Linux Security 64 スタンドアロンインストール

Business Suite Linux Security 64(LS64)はスタンドアロンインストーラ/パターンファイルアーカイブ(withsecure-updates.zip※)を利用し完全スタンドアロン運用が可能です。LS64 インストーラ/パターンファイルアーカイブ準備/更新には Policy Manager とオンライン端末が必要ですがインポート作業はオフラインクライアントのみで実施可能です。この例ではすべて Linux 端末での作業を実施しています。

※1 アーカイブは現在二種類あります。→[参照\(withsecure-migrator status\)](#)

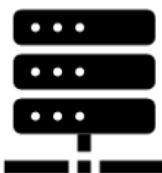
[運用イメージ]



Online PM

[パターンファイルアーカイブ準備作業]

1. `prepare-fspm-definitions-update-tool` を実行(初回のみ)
2. `channels.json` を編集(初回のみ)

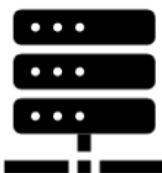


Any online machine

[パターンファイルアーカイブ更新作業]

3. `fspm-definitions-update-tool` を実行

※withsecure-updates.zipが生成される



Offline LS64

[パターンファイルアーカイブインポート作業]

4. `withsecure-updates.zip` をコピーして配置
5. `fspm-definitions-update-tool` でインポート

[Linux Security 64(LS64)のオフライン環境へのインストール手順]

1. スタンドアローンインストーラの作成

[https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task\\_5C570986E91C4FDEAE621040DF5080B3-latest-ja](https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task_5C570986E91C4FDEAE621040DF5080B3-latest-ja)

※0.0.0.0 を Policy Manager として指定し、インストールパッケージを作成。

※都度最新のインストーラファイル(jar)をダウンロードして作成(2025 年 09 月 19 日時点 /wsls64-5.0.12.jar が最新)

2. コンテンツパッケージ(=パターンファイルアーカイブ)の作成

[https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task\\_DB7A3BA35BE747168B9F05499160F552-latest-ja](https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task_DB7A3BA35BE747168B9F05499160F552-latest-ja)

※withsecure-updates.zip がコンテンツパッケージとなります。

3. 「コンテンツパッケージ(パターンファイルアーカイブ)」を指定してインストール。

[https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task\\_4F943A13730B43AE90CE85B32019825B-latest-ja](https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task_4F943A13730B43AE90CE85B32019825B-latest-ja)

※下記のコマンドでのオプション指定が必要。

```
bash linuxsecurity-pm-installer/linuxsecurity-installer --package=/tmp/ withsecure-updates.zip --automatic-updates=none
```

※この例では、withsecure-updates.zip を/tmp に配置しています。

※(2025年9月19日時点)インストーラディレクトリ setup-config.ini を下記のように編集してください。

```
guts2_address=.
```

インストール成功すると下記のように表示されます。

```
-----  
Preparing content for installation...  
linuxsecurity-1200-linux-x86_64.1745415982  
fsbg-100-linux-x86_64.1746831840  
pinned-certificates-unix.1683528332  
capricorn-linux64.1758216004  
hydra-linux64.1758189058  
fmllibunix64.1743166617
```

Installing WithSecure Linux Security 64

For License Terms, please see

<https://www.withsecure.com/en/about-us/legal/terms>

Completing the installation of product components...

```
fmllibunix64.1743166617  
hydra-linux64.1758189058  
capricorn-linux64.1758216004
```

---

## [パターンファイルアーカイブ準備作業]

1. PolicyManager(PM)サーバがインストールされているコンピュータでコマンドラインを開きます。このコンピュータは、WithSecure サーバに接続できるようにネットワークに接続している必要があります。

2. ポリシーマネージャ定義更新ツール(fspm-definitions-update-tool)を展開するディレクトリを作成し、カレントディレクトリとして移動します。
3. 次のコマンドを実行して、パターンファイルアーカイブ更新ツールを抽出します。  
`/opt/f-secure/fspms/bin/prepare-fspm-definitions-update-tool <DIR>`
4. 以下のファイルをテキストエディタで開きます。  
`/fspm-definitions-update-tool/conf/channels.json`
5. 次の URL 記載と同様にファイルを更新します。  
<https://download.withsecure.com/corpro/ls64/current/channels.json>

## [パターンファイルアーカイブ更新作業]

1. オンライン端末(Linux)に”fspm-definitions-update-tool” ディレクトリをコピーします。
2. `/fspm-definitions-update-tool/data/` に既存ファイルが無い事を確認し(あれば削除)以下コマンドを実行してパターンファイルアーカイブ( `withsecure-updates.zip`)を作成します。  
`<DIR> /fspm-definitions-update-tool/fspm-definitions-update-tool`  
コマンドが終了すると `data` ディレクトリにパターンファイルアーカイブ” `withsecure-updates.zip`” が作成されます。

## [パターンファイルアーカイブインポート作業]

1. `withsecure-updates.zip` ファイルを LS64 の任意の場所にコピーし、root ユーザとして次のコマンドを実行し製品のパターンファイルを適用(※)します。  
`/opt/f-secure/fsbg/bin/offline-update < DIR >/ withsecure-updates.zip`

※正確には `withsecure-updates.zip` からアップデートを抽出してインストール予定リストに登録を行います。登録されたチャンネル名が表示され、下記がこのコマンドの出力例です。

```
Preparing channel updates...
baseguard-100-linux-x86_64.1585583363
fsbg-100-linux-x86_64.1585581843
linuxsecurity-1200-linux-x86_64.1585581846
aqualnx64.1585581033
fsbspamd-100-linux-x86_64.1582614359
fmlibunix64.1580813614
hydra-linux64.1585289384
```

Registering updates...

※登録されたアップデートは、製品構成(lsctl で変更可能)で定義された更新スケジュールを無視して即座にインストールされます。

2. 次回以降は [パターンファイルアーカイブ更新作業] から同じ作業を繰り返してください。

## [補足事項]

- [パターンファイルアーカイブ更新作業] を Windows 端末で実施する場合、[パターンファイルアーカイブ準備作業] を Windows 端末で実施する必要があります。もし Windows 端末を用意できない場合、下記手順で java 実行環境を入れ替える事で Window 用ツールへの切り替えが可能です。(Window32bit 版の動作は確認されていません。)  
<https://community.withsecure.com/ja/kb/articles/29496-how-to-switch-fspm-definitions-update-tools-platform-from-linux-to-windows-vice-versa-in-policy-manager>
- LS64 はローカル GUI を持ちません。PM で管理されていないスタンダードアロン LS64 の設定は lsctl ユーティリティを使用して行います。  
#lsctl ユーティリティを使用して設定を構成する  
[https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task\\_57B4371465924825B36469EA081CD0A5-latest-ja](https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/task_57B4371465924825B36469EA081CD0A5-latest-ja)
- この作業を行う際 Policy Manager の「隔離モード(isolate)への切り替え」は不要です。隔離モードへの切り替えは、PM 自体がオフライン環境に存在している際に利用します。
- スタンダードアロン LS64 から不要なネットワーク接続を停止する為下記のコマンドがご利用いただけます。このコマンドは LS64 から Withsecure バックエンドへの接続を完全停止します。セキュリティクラウドへの接続も利用できなくなる為最新セキュリティ情報提供の遅れが発生します。

オフラインモードを有効化

```
/opt/f-secure/fsbg/bin/offline-mode enable
```

オフラインモードを無効化

```
/opt/f-secure/fsbg/bin/offline-mode disable
```

オフラインモードの確認

```
/opt/f-secure/fsbg/bin/offline-mode
```